

海外CEO商談会
先端産業
CEO商談会2023
【第二期】

開催日時

2023年 12月11日(月)
~12月13日(水)

〈参加国〉

インド インドネシア 韓国
シンガポール タイ ドイツ
フランス ベトナム
マレーシア

先端産業CEO商談会2023について

開催日程：2023年12月11日(月)から12月13日(水)まで

募集対象：海外販路開拓、海外展開を目指す中小企業

対象分野：産業用機械・電子機器、ロボット、自動車、SDGs、スタートアップ等

参加費：5,500円(税込)／1商談

※お申込みは無料で、商談が設定できた場合のみ参加費が生じます。また、オンライン商談に必要となるPC等の機材や通信費等は参加者の負担となります。

商談実施方法：オンライン(Microsoft Teamsを使用します)

※英語又は現地語の通訳が同席します。

※商談先、商談日時等は商談会開催の2週間前を目途にご案内いたします。

商談会参加国・地域



インド



インドネシア



韓国



シンガポール



タイ



ドイツ



フランス



ベトナム



マレーシア

商談会のお申し込みは、
中小機構が運営するビジネスマッチングサイト **J-GoodTech** で

ジェグテック

https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/lp_ceo/innovative2023_b/

海外CEO商談会



お申込みの流れ

1

商談希望海外企業の選択

商談を希望する海外企業を選択してください。

2

商談会へのお申込み

上記QRにアクセスし、「ジェグテック」より仮申込をお願いします。
仮申込完了後に、本申込用URLを送付しますので、続けて本申込をお願いします。
なお、仮申込及び本申込時点では参加費はかかりません。

3

中小機構による商談調整

お申し込み内容を必要に応じて中小機構が翻訳し、貴社の商談希望海外企業に送付し商談調整を行います。
海外企業が商談を希望した場合は商談が設定されます。

4

商談に向けた事前準備

商談会開催前に接続テスト・事前オリエンテーションを実施いたします。
このオリエンテーションでは当日の商談の流れや目的を確認させていただくため、参加は必須となります。
当日の商談スケジュール及び商談URLをお送り致しますので予めご確認下さい。

5

商談会当日

商談時間の10分前までに商談URLよりご入室ください。(事前に商談URLを事務局よりお送りいたします)
商談時間は50分/商談となります。

モデル商談

自己・自社紹介(10分)

▶ 本論(30分)

▶ クロージング(10分)

海外CEO商談会とは

海外CEO商談会は、海外展開を目指す国内中小企業と、日本企業との連携を希望する海外企業が招聘又はオンラインにて参加する商談会です。国内にいながら信頼のおける海外企業と出会いの場を提供しています。日本企業からの購入、代理店契約・日本製品の販売、合併会社の設立、共同開発・技術提携、日本企業への生産委託等を希望する海外企業経営者（CEO等）が参加します。

海外CEO商談会の特徴

- ① 海外企業経営者（CEO等）と直接商談することでスピーディーな意思決定が可能
- ② 海外政府機関等から推薦を受けた海外企業が参加
- ③ 日本企業からの購入、代理店契約・日本製品の販売、合併会社の設立、共同開発・技術提携、日本企業への生産委託等を希望する海外企業が参加
- ④ 全商談に英語又は現地語の通訳が同席するため日本語での商談が可能
- ⑤ 海外展開の専門家が商談ノウハウをアドバイス



参加日本企業様のお声（商談会アンケートより）

自分たちでは
探せない海外企業と
コンタクトを
とることができた。

進行がスムーズで
通訳も的確で
わかりやすかったです。

初顔合わせにも
かかわらず、
充実した内容の
意見交換が
できた。

製品への
ニーズを
直接聞ける
良い機会でした。

良い商談ができて、
関係づくりの
一歩となった。

経営者同士で
会うことができ、
話が早かった。

分野別目次

| 分野別 | ページ | 管理番号 | 企業名 | 国名 |
|---|-----|--------|--------------------------------|--------|
|  産業用機械・電子機器 p4 ~ p8 | p4 | I2IN01 | ソマゲデ・インドネシア | インドネシア |
| | p4 | I2GE01 | ファインドラットウェールク・アドルフ・エデルホフ | ドイツ |
| | p5 | I2SI01 | チャー・ファット・カンパニー | シンガポール |
| | p5 | I2ID01 | ペルマリ・ワレス | インド |
| | p6 | I2ID02 | シャシ・ケーブル | インド |
| | p6 | I2SI02 | シャイン・プレジジョン・エンジニアリング | シンガポール |
| | p7 | I2ID03 | アンキット・スチールズ | インド |
| | p7 | I2SI03 | インスピラス・テクノロジー | シンガポール |
| | p8 | I2TH01 | CYテクノロジー | タイ |
|  ロボット p8 ~ p10 | p8 | I2VN02 | メイコー・オートメーション | ベトナム |
| | p9 | I2VN01 | アイディア・テクノロジー・コーポレーション | ベトナム |
| | p9 | I2FR01 | ナノ・システムズ | フランス |
| | p10 | I2K001 | イジジオ | 韓国 |
|  自動車 p10 ~ p12 | p10 | I2TH02 | TFP インダストリアル | タイ |
| | p11 | I2ID04 | ギシュヌ・ギアーズ | インド |
| | p11 | I2ID05 | スリー・ガネシュ・プレス・アンド・コート・インダストリーズ | インド |
| | p12 | I2VN03 | PMA トレード・アンド・デベロップメント・テクノロジー | ベトナム |
|  SDGs p12 ~ p13 | p12 | I2ID06 | ユニセブン・エンジニアリング・アンド・インフラストラクチャー | インド |
| | p13 | I2MA01 | コンコード・リニューアブル・エネルギー | マレーシア |
| | p13 | I2ID07 | ブライトフレクシ・インターナショナル | インド |
|  スタートアップ p14 ~ p17 | p14 | I2ID08 | SMPS エレクトリック・コントロール | インド |
| | p14 | I2ID09 | コラシア・テクノロジー | インド |
| | p15 | I2ID10 | FxUAV テクノロジーズ | インド |
| | p15 | I2ID11 | プライオリティーズ・メイド・イージー・テクノロジー | インド |
| | p16 | I2ID12 | サウンドリアー | インド |
| | p16 | I2ID13 | カーボンアウト・テックコム | インド |
| | p17 | I2K002 | イーロン・システム | 韓国 |



インドネシア

I2IN01

ソマゲデ・インドネシア
PT. SOMAGEDE INDONESIA

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ジャカルタ [他事務所] チカラン、タンゲラン他
[HP] <https://www.somagede.com/>



切削工具・接着剤

- 設立年 : 1989年
- 資本金 : 9700万円
- 従業員数: 176名
- 売上高 : 32億5000万円
- 事業内容: 切削工具・接着剤販売業
- 主要製品: 工作機械用切削工具、研磨工具、各種接着剤、潤滑剤
- 取引先 : 自動車業界、商社
- 国際認証: ISO9001、ISO14001
- 日本企業との取引経験: 有

[会社概要]

工作機械用の切削工具と接着剤を専門に手掛ける企業。主に日本、欧米の大手切削工具メーカー、接着剤メーカーの製品を輸入販売している。グループ内に、特殊工具や成型部品の製造、スペアパーツ生産等を行う合併事業、協力事業を数多く有する。取扱製品の多くは日系自動車メーカー、家電メーカー等に納入されている。インドネシアの主要都市10か所以上に支店、販売拠点を構え、優れた在庫管理・配送システムにより、高品質の工具、部品をタイムリーに供給できる。また、メンテナンス、修理等のアフターサービスも充実している。

商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

輸入販売製品の品揃えを拡充するために、日本製の切削工具や接着剤の現地販売代理店になることを希望している。日本から輸入する製品の販売先としてはMROや採掘関連企業を想定している。現地に十分な製品在庫を保有し、顧客に対して短期間での納品や優れたアフターサービスを提供できるのが当社の強みである。購入数量や購入時期の詳細については商談で協議したい。

■合併会社の設立

切削工具や接着剤の領域において、日本企業と合併会社を設立することで、顧客の生産自動化に貢献できるような新規事業の立ち上げを希望している。合併会社の拠点候補はチカラン、対象市場は顧客の保有する工作機械や自動車業界を想定している。合併会社の規模等の詳細は日本企業との協議で決めていきたい意向。



各種切削工具

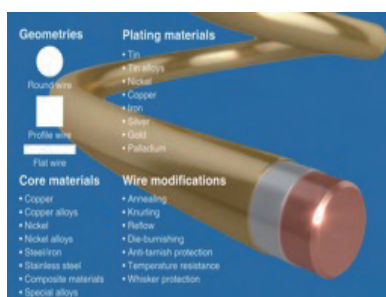


ドイツ

I2GE01

ファインドラットウェールク・アドルフ・エデルホフ
Feindrahtwerk Adolf Edelhoff GmbH&Co. KG

[参加予定者] 取締役
[本社] イーザーローン [他事務所]—
[HP] <https://www.edelhoff-wire.de/>



取り扱い仕様鋼種-1

- 設立年 : 1760年
- 資本金 : 2億9000万円
- 従業員数: 95名
- 売上高 : 43億円
- 事業内容: 線材金属加工の製造販売
- 主要製品: 高機能ワイヤーコーティング
- 取引先 : 各種製造業
- 国際認証: ISO9001、ISO14001、ISO45001、ISO50001
- 日本企業との取引経験: 有

[会社概要]

各種産業に用いられる特殊ワイヤーコーティングを主な生業としており、ドイツのイーザーローンに拠点を置く最古の企業である。長い歴史を経て現在では、産業用電子機器、自動車、太陽光発電、航空、楽器等の様々な分野への供給実績がある。主な素材仕様は鉄、銅、ニッケル合金、ステンレス等であり、形状は丸型、平型、長方形等の対応が可能である。また、丸型であれば直径0.028から3.00ミリメートルの加工も可能であり、幅広い種類、サイズに対応することができる。日本企業との取引実績として楽器メーカーへの販売実績がある。

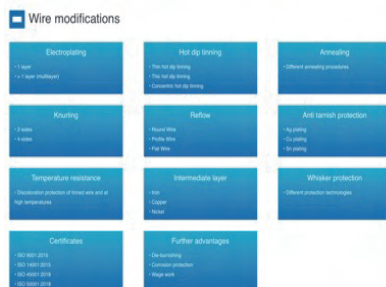
商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

当社は特殊ワイヤーコーティングを主業種としており、当社の製品や技術を補完できる日本企業との商談を希望している。当社が取り扱っていない日本製品を当社の顧客ネットワークを通じてドイツをはじめとするヨーロッパ市場へ展開していくことを想定している。双方の顧客ニーズに合わせて、お互いの製品やサービスを補完し顧客に提供していくパートナーとしての関係構築を図ってきたい意向がある。

■共同開発・技術提携

当社は主にドイツ工業規格DIN製品、ヨーロッパEN規格、米国試験材料協会ASTM規格などの素材製品を取り扱っているが、日本の特殊技術に関心があり高機能ワイヤーコーティングなどの分野で素材表面加工技術を持つ日本企業との共同開発・技術提携を希望している。双方の技術を共有することで、より高品質なワイヤーコーティング製品を顧客に提供できることを期待している。



取り扱い仕様鋼種-2



I2SI01

チー・ファット・カンパニー

CHEE FATT COMPANY PTE LTD

[参加予定者] 代表取締役

[本社] シンガポール [他事務所] マレーシア、UAE

[HP] <https://www.cheefatt.com/>



油圧機器



電動工具



検査機器

- 設立年 : 1973年
- 資本金 : 5億円
- 従業員数: 70名
- 売上高 : 30億円
- 事業内容: 産業用工具・機器の輸入販売
- 主要製品: 石油・ガス、海運、航空、建設業向け工具・機器
- 取引先 : 石油・ガス、海運、航空、建設業等
- 国際認証: ISO9001
- 日本企業との取引経験: 一

【会社概要】

当社は、1973年に設立し、アジアにおける産業用工具販売のリーディングカンパニーのひとつとなっている。幅広い分野で高品質・高評価の産業用工具・機器を取り揃えており、顧客のニーズに応じて適切な工具・機器を適切なタイミングで提供することによって、様々な顧客から高い評価を得ている。また複数の流通販売チャネルを活用しているが、近年では特に産業界の顧客との直接取引、卸売業者を通じた販売及びe-コマースに力を入れている。長年の顧客との関係構築により、特に石油・ガス関連及び海運の分野においては確固たる地位を築いているが、今後更に新たな製品・分野・市場を探索していきたいと考えている。

商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

生産性及び効率を向上させる各種産業向け、日本製の工具・機器について、シンガポール及び周辺地域での販売を希望している。具体的には、石油・ガス、海運、航空、自動車、建設業向けの工具・機器や太陽光発電、グリーンエネルギー設備の設置、メンテナンス等の再生可能エネルギー分野、また電気自動車(EV)のメンテナンス等に必要となる工具、機器を想定。なお、取引の初期段階においては、独占販売契約にこだわるものではない。



I2ID01

ペルマリ・ワレス

Permal Wallace Pvt. Ltd.

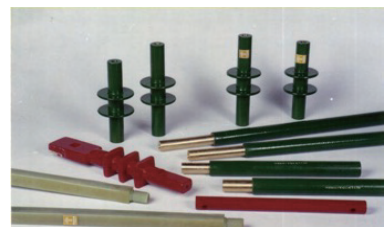
[参加予定者] 代表取締役

[本社] ボーパール(マディヤ・プラデーシュ州) [他事務所] ムンバイ

[HP] <http://www.permali.co.in/>



木材ベースの複合材料製品



各種複合材料による製品群
(高圧電気設備用の絶縁部品)

- 設立年 : 1961年
- 資本金 : 1億9000万円
- 従業員数: 500名
- 売上高 : 17億3000万円
- 事業内容: 産業用複合材料及び製品の製造、販売
- 主要製品: 木材、樹脂、グラスファイバー等の複合材料及び製品
- 取引先 : 発電・変電設備メーカー、鉄道関連企業、政府機関等
- 国際認証: ISO9001、ISO14001、ISO45001
- 日本企業との取引経験: 有

【会社概要】

インドにおける産業用各種複合材料・製品のリーディングメーカー。英国Permal社との技術提携により1961年に設立されたが、その後同社の再編に伴い持ち分を買い取り現在では100%独立のインド企業として経営している。木材、樹脂、グラスファイバーを組み合わせた複合材料は、絶縁・断熱性、耐腐食性、耐久性に優れ且つ加工が容易であることから、発電・重電関係、鉄道、石油、鑄造等様々な産業において活用されている。インド国内だけでなく中東地域を中心に世界25か国以上に製品を供給しており、今後更に新たな分野、顧客に展開していくことを目指している。

商談会参加目的

■合併会社の設立

木材、樹脂、グラスファイバーを組み合わせた産業用複合材や製品等の設計や開発・製造のため、日本企業からの先進的な技術を取り入れ、開発拠点や製造拠点としての合併会社設立を検討している。日本企業との技術提携により開発された新たな材料や製品等が新分野へ供給できる場合、60年以上のインド国内でのビジネス経験を通じ培ったインド市場・業界についての知見と顧客基盤から競争力のある製品を比較的低コストで提供できると考えている。

■共同開発・技術提携

産業用複合材料及びその加工製品を製造販売する日本企業との共同開発・技術提携を希望している。日本企業から先進的な技術を取り入れて新たな材料・製品を開発し、これまで参入できなかった新たな分野、顧客への製品供給を目指している。具体的な新分野としては例えば高速鉄道や地下鉄関連の分野、自動車やEV(特にカーボンファイバー素材の活用について)の分野を想定しており、これらの分野に関連した複合材料、製品についての知見・経験や顧客基盤を持つ日本企業との商談を期待している。



日本企業からの購入



代理店契約
日本製品の販売



合併会社の設立



共同開発
技術提携



日本企業への生産委託



インド

産業用機械・電子機器

I2ID02

シャシ・ケーブル

Shashi Cables Limited

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ラクナウ(ウツタル・プラデーシュ州) [他事務所] -

[HP] <https://www.shashicable.com/>



銅ロッド

- 設立年 : 1973年
- 資本金 : 2400万円
- 従業員数: 59名
- 売上高 : 13億3600万円
- 事業内容: 電線の製造販売
- 主要製品: HTLS導体ケーブル、HDGCワイヤー
- 取引先 : 州政府、電力事業者、EPC事業者、鉄道事業者
- 国際認証: ISO9001
- 日本企業との取引経験: 有

[会社概要]

1973年の創業以来、当社は品質重視のアプローチにより様々な産業分野のニーズに応える高性能導体の製造を通してインド全体の社会インフラを支えている。インドでは社会の発展とともに電力需要が急増しており、その社会的要求に応えるため、電力の送配電設備向けや、鉄道や地下鉄事業向け、更には太陽光、水力、風力発電等の再生可能エネルギー事業向けに各種製品を供給し続けている。現在はバングラデシュ、ウガンダ、イスラエルなどインド以外の国に事業を拡大しており、製品を販売した後も信頼できるアフターサービスの提供により、各国のパートナー顧客とも友好的な関係を維持しつつ地域社会の発展に貢献している。

商談会参加目的

■合併会社の設立

当社はインド州政府との取引があり、OH導体アルミニウム及びその合金、HTLS導体、HDGCコンタクトワイヤーの製造を行っているが、現在の製品ラインナップを補完する革新的な技術を保有する日本企業との合併会社の設立を希望している。日本企業に求めることは、要素技術の研究開発は必要なく、様々なアプリケーションに対応するための設計能力の向上を求めており、試作設計から量産に至るまでのプロセスについての協業を想定している。また、インドにおける低コスト製品の製造拠点展開についても視野にいれている。



アルミニウム
ジルコニウム ロッド



シンガポール

産業用機械・電子機器

I2SI02

シャイン・プレジジョン・エンジニアリング

SHINE PRECISION ENGINEERING PTE LTD

[参加予定者] 取締役

[本社] シンガポール [他事務所] -

[HP] <https://www.shineprecision.com>



当社事務所

- 設立年 : 1989年
- 資本金 : 5300万円
- 従業員数: 69名
- 売上高 : 9億8000万円
- 事業内容: 精密機械の製造
- 主要製品: 医療機器部品
- 取引先 : 医療機器関連メーカー等
- 国際認証: ISO9001、AS9100
- 日本企業との取引経験: -

[会社概要]

シンガポールの精密機械加工分野におけるリーディング企業として、医療関連だけでなく半導体、自動車、航空関連等幅広い分野の企業に対して製造、販売を行っている。ロボットによる自動化・デジタル化された金型加工や精密CNC機械設備を有している他、1,000や10,000クラスのクリーンルームの組み立て設備も有している。ISO9001及びAS9100の認定企業として、エンジニアリングの知識の豊富な人材を有しており、高難易度な精密機械加工への対応が可能である。海外事業としては米国や欧州向けの精密機械加工の分野で取引実績がある。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

設立から30年以上の事業経験で積み上げられた精密機械加工技術を活かし、精密機械加工、モジュール組み立てといった分野において日本企業と共同開発・技術提携を希望している。共同開発・技術提携で生産する品目は、医療機器や航空機関連部品、半導体関連部品等を想定しているが、その他、様々な事業領域においても対応可能である。



当社工場設備



インド

I2ID03

アンキット・スチールズ
Ankit Steels

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ルディヤーナー(バンジャール州) [他事務所] 英国

[HP] <https://www.ankitsteel.in>



グリースガン



各種工具類

- 設立年 : 2010年
- 資本金 : ー
- 従業員数: 70名
- 売上高 : 1億4000万円
- 事業内容: 製造業(潤滑剤注入器具の製造・販売)
- 主要製品: 潤滑剤注入器具(グリースガン、ポンプ)、自動車用工具、自動車部品等
- 取引先 : 自動車関連メーカー、商社
- 国際認証: ISO9001
- 日本企業との取引経験: ー

[会社概要]

当社は潤滑剤注入器具や自動車用工具を扱うメーカー。特に潤滑剤注入器具は市場ニーズに対応するために幅広い商材を取り揃えており、当社の強みとなっている。その主要銘柄は、グリースガン、グリースポンプ、スパナー等である。生産ラインの改善のためにプロセス開発を推進中である。また、主力製品のグリースガンと合わせてグリースカートリッジを供給するためにグリース自体の生産ユニットを新規に設置する計画である。当社の製品群は国際基準に合致しており、英国、南米、中東、アジア、アフリカ等30か国以上に輸出されている。英国には販売拠点がある。

商談会参加目的

■合併会社の設立

潤滑剤注入器具であるバッテリー型のグリースガンの開発、製造に関し、更なる製品改良を目指し、日本から電動DCモーター、遊星ギア(プラネタリーギア)、バッテリーマネジメントシステム(リチウムイオンバッテリー)を導入し、バッテリー生産等の合併会社をインド、ルディヤーナーに設立することを検討している。

■共同開発・技術提携

日本企業と技術提携し導入したい技術は、電動DCモーター、遊星ギア(プラネタリーギア)、バッテリーマネジメントシステム(リチウムイオンバッテリー)、バッテリー生産等であり、技術提携の範囲は、基礎研究、設計、試作、量産、製造、生産ライン改善等である。対象市場は全世界、特に米国と欧州向けを考えている。



シンガポール

I2SI03

インスピラズ・テクノロジー
Inspiraz Technology Pte Ltd

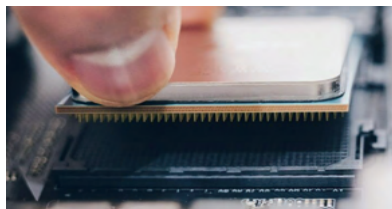
[参加予定者] 代表取締役

[本社] シンガポール [他事務所] 上海、ソウル

[HP] www.inspiraz.com



遠隔監視システム



熱伝導素材



プラズマ放電システム

- 設立年 : 2004年
- 資本金 : 1億1570万円
- 従業員数: 23名
- 売上高 : 2億6000万円
- 事業内容: 電子部品製造
- 主要製品: マシンビジョンソフト、熱伝導用素材、プラズマ放電機器
- 取引先 : エレクトロニクス、半導体製造業界
- 国際認証: ー
- 日本企業との取引経験: 有

[会社概要]

システム部門、熱伝導素材部門及びプラズマ放電機器製造部門からなる電子部品メーカーである。システム部門は、バーコードリーダー、光学スキャナー、生産フロー管理、遠隔監視システム等の管理を、熱伝導素材部門はPCB、半導体基板と放熱装置に介在させる熱伝導用粘着テープの製造及び同塗工を、プラズマ放電機器製造部門は半導体基板等の表面洗浄、ほこり除去用大気圧プラズマ放電システムの製造を担当する。物流フロー管理等で定評のあるソフトは監視カメラやセンサー等と連動することにより遠隔監視システムに応用できる。半導体関連熱伝導素材やプラズマ放電システムは米国大手半導体会社に長年にわたり採用されている。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

当社のシステム部門は、バーコードリーダー、光学スキャナー、生産フロー管理、遠隔監視システム等の管理等を行っている。マシンビジョンに関して、3D検査機能を2Dと同じソフトウェアプラットフォームに統合することに技術的な課題があり、この課題を解決することができる日本企業との共同開発・技術提携を希望している。共同開発・技術提携の拠点はシンガポール、日本のどちらでも検討可能である。



日本企業からの購入



代理店契約
日本製品の販売



合併会社の設立



共同開発
技術提携



日本企業への
生産委託

タイ

I2TH01

CYテクノロジー
CYTechnology Co., Ltd.

[参加予定者] 部長
[本社] バトゥムターニー [他事務所] —
[HP] <https://cytech.co.th>



プリント回路基板
組立プロセス



工場外観

- 設立年 : 1989年
- 資本金 : 4億7000万円
- 従業員数: 56名
- 売上高 : 6億7500万円
- 事業内容: プリント回路基板の組立
- 主要製品: 表面実装プリント回路基板
- 取引先 : 電子機器メーカー、
カーオーディオメーカー等
- 国際認証: ISO9001、ISO14001
- 日本企業との取引経験: 有

[会社概要]

電子機器用の、BGA(ボールグリッドアレイ)等の表面実装プリント回路基板の組立・製造を行う。1989年に米国大手電子機器メーカーに対するEMS(電子機器製造受託)サプライヤーとして創業し、それ以来電子機器業界においてグローバルなEMSサプライヤーとなるべく事業展開を行ってきた。この分野での25年以上の経験を持ち、実績と適応力そしてコスト競争力を強みとする。顧客基盤は電子機器メーカーをはじめとして医療機器メーカー、エネルギー・環境関連企業、カーオーディオメーカー等多岐にわたり、売上の9割は海外への輸出である。柔軟性が高く小回りが利くのが強みであり、顧客やサプライヤーとの長期的な信頼関係の構築を重視している。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

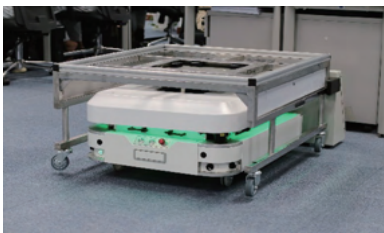
表面実装プリント回路基板を必要とする医療機器メーカー、エネルギー、環境関連やカーオーディオメーカー等の日本企業との共同開発、技術提携を目指した商談を希望。25年の業界での実績を通じて得たコスト競争力に磨きをかけるべく製造コストの削減や、あわせて生産量の拡大や生産性の向上、そして既存のプリント回路基板技術力の向上を目指し、提携を深めたい意向。

ベトナム

I2VN02

メイコー・オートメーション
MEIKO AUTOMATION JOINT STOCK COMPANY

[参加予定者] 取締役
[本社] ハノイ [他事務所] —
[HP] <https://meiko-auto.vn/en/>



AGV(無人搬送車)



AGF(無人フォークリフト)

- 設立年 : 2019年
- 資本金 : 5800万円
- 従業員数: 106名
- 売上高 : 7億2400万円
- 事業内容: 医療機器および
自動化関連機器の製造・販売
- 主要製品: 人工呼吸器、AGV
- 取引先 : 各種製造業
- 国際認証: ISO9001
- 日本企業との取引経験: 有

[会社概要]

日本の大手プリント基板メーカーである株式会社メイコーのグループ企業。前身はメカトロニクスメーカーとして2014年に立ち上げられた企業であるが、2019年に改めてMeiko Automation社として設立され、ベトナムにおいてオートメーション等の先進技術に関するリーディングカンパニーとなることを目指している。今日では、工程自動化機器やロボット、生産管理・工程管理ソフトウェア、無人搬送車(AGV)・無人フォークリフト(AGF)・自律走行搬送ロボット(AMR)といった「スマートファクトリー」関連のソリューションを各種産業に提供している。また、主要製品のひとつとして、人工呼吸器等の医療機器を製造販売している。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

大きく二つの分野において、日本企業との共同開発、技術提携を期待している。一つ目は医療機器分野であり、メインの人工呼吸器に加え、患者モニタリングシステム、体外診断機器(IVD)、リモート診断・リモートケアシステム等が対象製品となる。二つ目は自動搬送機器分野であり、無人搬送車(AGV)、無人フォークリフト・サービスロボット等の自動搬送機器、それらの主要部品(モーター、センサー、液晶ディスプレイ等)や無人搬送車管理運営システムが対象となる。これらに関する新たな技術や製造工程の改善、品質向上に向けた知見、原材料調達やサプライチェーンシステム、流通ネットワークなど広範な領域で提携を深めたい意向を有する。また、日本企業と共同開発された製品はベトナム自国内での製造をすることも可能であり、販売にあたってはグループ会社内のみならず、商社を通じて幅広く行うことが可能。

産業用機械・電子機器

ロボット



I2VN01

アイディア・テクノロジー・コーポレーション
IDEA Technology Corporation Joint Stock Company

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ホーチミン [他事務所] -
[HP] <https://ideagroupvn.com/>

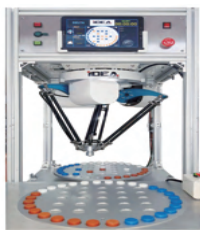
MADE IN VIETNAM - JAPAN TECHNOLOGY



取扱製品



FA設備



FA設備

- 設立年 : 2010年
- 資本金 : 1億4000万円
- 従業員数: 250名
- 売上高 : 7億7000万円
- 事業内容: 自動機械製造・販売
- 主要製品: 自動機械・生産設備他
- 取引先 : 電子機器、自動車製造企業等
- 国際認証: ISO9001
- 日本企業との取引経験: 有

【会社概要】

当社は、2010年の創業以来、機械設計受託、機械加工、自動機械製造、商社、その他サービス分野で幅広い事業展開をしている。具体的な事業内容としては開発設計サービスの提供、精密機械・部品加工、ジグ設計・製造、AGV自走車等開発設計、機械部品加工、金型生産、自動装置・生産設備製作、FA製品販売等製造業向けに多岐に渡るサービスを提供している。特に、生産設備や自動化装置設計分野においては高い内製化率と高度な研究開発能力を有している。海外企業との取引については日本企業が97%を占めている。開発設計・製造技術の能力の高さを生かし、今後も日本企業との関係を強化していきたい。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

ベトナムで新規の事業展開を計画している日本企業、または既にベトナムで事業を展開している日本企業が直面している課題解決や様々なニーズに応えるため、日本のシステムインテグレーターを含めた製造業との商談を希望している。IoT関連分野を含めたファクトリーオートメーション、生産コストの削減、新製品の開発設計・試作品製作・量産といった分野において課題を抱える日本企業との協業により、日本企業のベトナムでの事業展開のサポートを行いたい意向を有する。



I2FR01

ナノ・システムズ
NANO-SYSTEMS

[参加予定者] 取締役
[本社] ポン・ドリゼール [他事務所] -
[HP] <http://nano-systems.fr/>



当社サービス①



当社サービス②



当社サービス③

- 設立年 : 2013年
- 資本金 : 150万円
- 従業員数: 3名
- 売上高 : 4000万円
- 事業内容: ITサービス業
- 主要製品: ITシステム構築
- 取引先 : 製造業、保険業等
- 国際認証: -
- 日本企業との取引経験: -

【会社概要】

国内の各種業界向けにグラフィカルユーザーインターフェイス (GUI)、プロセス監視、データ収集、トレーサビリティ管理などに関するITエンジニアリングサービスを提供している。特に大手保険会社向けにカスタマイズした管理システムを専門としている一方、近年、モノづくりがフランス国内からアフリカへシフトしており、同じ仏語圏のモロッコで製造業が拡大する中、同国の自動車製造業などを新たなターゲットと定め、産業向けのシステムエンジニアソリューションの提供も行っている。優れたデジタルソリューションを日本企業の代理店としてモロッコに展開することを希望している。

商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

ロボットアームや自動化装置、ソフトウェア、システムなど、製造現場や事務部門での生産効率向上やプロセス最適化、スマートファクトリーに資する革新的な技術や製品を日本企業の代理店としてモロッコの製造業に向けて展開したい意向がある。その他、電気回路基板の取り扱いも可能である。モロッコ製造業界の課題として、多数ある先進的な技術を有する大企業等にデジタルソリューションを提供できるローカル企業が少ないことが挙げられる。特に自動車部品製造関連の企業の潜在的なニーズは大きく、当社の商機があると見ている。モロッコ現地での潜在的なニーズは把握できており、日本企業との合意ができた後、具体的な販路を確立していく想定。

■共同開発・技術提携

現地の製造業のニーズに対して製造現場や事務部門での生産効率向上やプロセス最適化、スマートファクトリーに資する革新的な製品やサービスについて日本企業との共同開発・技術提携を希望している。特に、プログラミングのノウハウを有する企業との商談を希望している。顧客のターゲットはグローバル市場向けの製造拠点を有する大企業がメインとなる。また、当社には日本人も在籍しておりコミュニケーションの問題はない。



日本企業からの購入



代理店契約
日本製品の販売



合併会社の設立



共同開発
技術提携



日本企業への
生産委託

ロボット

韓国



12K001 イジジオ
EASYGEO INC

[参加予定者] 代表取締役
[本社] 釜山 [他事務所] 昌原
[HP] <https://www.ezgeo.com/>



データ分析プログラム

- 設立年 : 2008年
- 資本金 : 1500万円
- 従業員数: 26名
- 売上高 : 2億3700万円
- 事業内容: ITソリューション開発、販売
- 主要製品: 基幹業務システム、画像処理、ビッグデータ処理
- 取引先 : 製造業全般
- 国際認証: ー
- 日本企業との取引経験: ー

[会社概要]

画像認識やビッグデータ解析等のAIソリューション、ERPやMESといった基幹業務ソリューション、アプリケーション、その他様々なSI領域で多くの実績を有している。韓国の製造業を中心に、連携性の高い業務システムを構築する総合的ソリューションや分析作業も含めた様々な製造業で活用できるAIやIoTを活用したソリューションを提供しており、幅広いネットワークを有している。当社が携わる分野は顧客のニーズも頻繁に変化するため、新しいソリューションやパートナーを探すとともに、最新のトレンドを迅速に把握することに努めている。

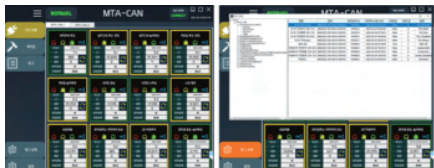
商談会参加目的

■日本企業からの購入

人工知能とIoTを組み合わせたAIoTソリューションを開発・運用するサービスプロバイダーとして、産業機械の自動化設備を開発・販売できる日本企業との事業連携を希望している。特に産業機械に関する設備の構成、運用方法及び設備環境等の情報を人工知能に学習させる予測管理ソリューションの開発・提供を通じた産業機械の長寿命化を目指しており、このような技術を導入したい意向を有する。

■合併会社の設立

産業機械の自動化設備の開発・販売を手掛ける日本企業との合併会社の設立を希望している。当社としては、両者が有する画像認識やビッグデータ等を学習させたAIによるデータ分析やIoT技術を活用し、製造業のコスト削減に貢献することができるソリューションを韓国国内の顧客へ提供したい意向を有する。



製造業向けデータ管理プログラム

タイ



12TH02 TFP インダストリアル
TFP INDUSTRIAL CO.,LTD

[参加予定者] 取締役
[本社] バンコク [他事務所] ー
[HP] <https://www.tfpthailand.com/>



サイドバイザー

- 設立年 : 1992年
- 資本金 : 1500万円
- 従業員数: 360名
- 売上高 : 26億3500万円
- 事業内容: 自動車部品製造
- 主要製品: 自動車用アクセサリ部品
- 取引先 : 日系自動車メーカー、商社
- 国際認証: ISO14001、IATF16949、ISO45001
- 日本企業との取引経験: 有

[会社概要]

プラスチック、ステンレス、エレクトロニクス製品など、幅広く自動車の内外装部品の開発、設計を手掛ける自動車用品(アクセサリ)の専門メーカーである。1992年の設立以来、タイ、中国、台湾等広範な生産ネットワークにより優れた品質とサービスを顧客に提供することで高い評判を得てきた。当社の強みは車載用品の各種アプリケーションと製造に関する深い専門知識にあり、社内の研究開発チームによる開発、設計、試作を繰り返しながら、効率性と原価管理における革新的な成果を追及し続けている。Tier1サプライヤーとして卓越性と国際基準準拠の取り組みを通して、独自のソリューションを提供している。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

自動車用バックソナーの調達を検討している。顧客であるOEMメーカーの要求仕様、及び品質基準に準拠可能な製品を供給できる日本企業との商談を希望している。開発製品は顧客であるOEMメーカーによる設計承認の取得が求められる他、対象となる車両の全ての開発ステージにおいて搭載検討や製品評価への対応が必要要件となる。また輸出を想定していることから輸出対象国の法規制に適合させることも必要である。事業連携する日本企業に対しては、当社の顧客ネットワークを活用しタイ市場への参入機会を提供することが可能である。



デジタルビデオレコーダー

自動車



インド

自動車

I2ID04

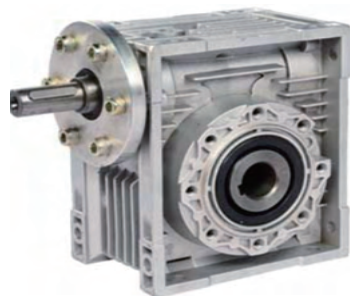
ギシュヌ・ギアーズ

Gishnu Gears Pvt Ltd

[参加予定者] 代表取締役

[本社] コーヤンブットゥール(タミル・ナードゥ州) [他事務所] -

[HP] <https://www.gishnugears.co/>



アルミニウムギアボックス



ベベルヘリカル

- 設立年 : 1995年
- 資本金 : 1億9300万円
- 従業員数 : 280名
- 売上高 : 10億4000万円
- 事業内容 : ギア、ギアボックス設計、製造
- 主要製品 : パワーステアリング用変速ギア、各種製造機械用変速・減速ギア
- 取引先 : 自動車、繊維、食品等各業界企業、重工業業界企業
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : -

[会社概要]

当社は変速ギア製品の専門メーカーで20年以上の業歴を誇り、重工業を含めたあらゆる製造業に変速ギアを供給している。製造ラインのスピード調節用の減速ギアが中心だが、現在では自動車業界向けの減速・変速ギアの製造が大きく、小型商用トラック(3.5MT以下)、バン、ピックアップトラック用などのパワーステアリング用ギアでは業界有数である。アメリカ、カナダ、シンガポール、アフリカ諸国等12カ国向けに輸出をしており、取扱いの70%を占めている。ギアとギアボックスの金属加工から、組み立て、精度、耐久性等の検査も含め、それぞれの業界の要望に合わせて製造、販売している。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

重工業から繊維産業、食品産業等、射出成型機、コンベヤー関連等の変速・減速ギアを製造する会社から、2011年に自動車向けの標準減速ギアの製造専門会社として当社は設立した。EVの本格化を目前に、あらゆるギア・ギアボックス需要にも対応できるよう、更なる品質アップとコスト競争力をつけることが今回の商談目的である。生産工程の効率化を通じたコストダウン等に繋がる生産管理の共同開発や、日本の最先端ギア製造技術導入を前提とした技術提携も含め、日本メーカーとの商談を希望している。



インド

自動車

I2ID05

スリー・ガネシュ・プレス・アンド・コート・インダストリーズ

Shree Ganesh Press N Coat Industries Pvt Ltd .

[参加予定者] 取締役

[本社] オーランガバード(マハララシュトラ州) [他事務所] -

[HP] <https://www.sgpnc.co.in>



各種自動車部品



バイオマス原料処理機械
各種工具類

- 設立年 : 1999年
- 資本金 : 1700万円
- 従業員数 : 250名
- 売上高 : 5200万円
- 事業内容 : 製造業 (自動車部品の製造・販売)
- 主要製品 : 自動車座席フレーム部品、電気制御盤、トグルクランプ
- 取引先 : 自動車メーカー、ディーゼル、発電機メーカー、電気制御盤メーカー
- 国際認証 : ISO9100、ISO14001
- 日本企業との取引経験 : -

[会社概要]

板金、管状サブアセンブリ、粉体塗装等のコア技術を駆使して、自動車座席フレーム部品・小型メタル部品、電気制御盤、工具類を手掛けるメーカー。顧客の要件に応じて製品を設計、製造、供給するために、20トンから315トンのプレス機30台、自動溶接機26台等を取り揃え、自動車、電気、防衛、農業機械等の各部門、施設に対してサービスを提供している。ディーゼル発動機の部品や自社開発の工具であるトグルクランプは米国等に輸出している。主力の自動車部品事業に加え、EVや再生エネルギー分野においても自社固有の部品、製品の開発を計画している。

商談会参加目的

■合併会社の設立

自動車用プレス部品、溶接部品、機械加工部品、金属部品塗装が当社の主な事業分野であり、これまで全ての顧客に対してワンストップソリューションを提供してきたが、既存の事業内容にバリューチェーン企業の要望に沿った形で、市場トレンドにあわせた製造プロセスの追加や事業領域を拡大することで、顧客への提供内容を多様化したいと考えている。特に自動車分野では内燃機関、EV、FCV関連、その他では再生可能エネルギーシステム関連、及び産業用機器の分野で当社との合併事業に興味を持つ日本企業との商談を希望している。

■共同開発・技術提携

日本企業との共同開発・技術提携により、技術力及び市場競争力を高め、既存顧客だけでなく新規顧客に対するソリューションサービスプロバイダーとして事業拡大を目論んでいる。自動車関連部品(特にスピードメーター、ブレーキシステム、電機・電子部品アッセンブリー等)での共同開発・技術提携に関心を持っているため、その分野でインド市場への参入を検討している日本企業との商談を希望している。当社と協業する日本企業とは長期的かつ持続可能で信頼できる関係を構築し、新たな事業創出を通して相互に利益を享受可能な姿を目指したい。



日本企業からの購入



代理店契約
日本製品の販売



合併会社の設立



共同開発
技術提携



日本企業への
生産委託

自動車

ベトナム

I2VN03

PMA トレード・アンド・デベロップメント・テクノロジー
PMA Trade and Development Technology JSC

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ハノイ [他事務所] 大阪
[HP] <https://pma-seimistu.vn/>

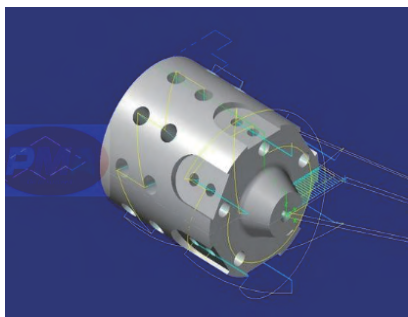


精密金属部品

- 設立年 : 2014年
- 資本金 : 1690万円
- 従業員数: 38名
- 売上高 : 1億7550万円
- 事業内容: 精密金属部品加工、旋盤加工設計、
その他機械組み立て
- 主要製品: 自動車部品、電機部品、
機械部品、治具
- 取引先 : 自動車メーカー、
電気機械メーカー、
その他運送機器メーカー
- 国際認証: ISO9001
- 日本企業との取引経験: 有

【会社概要】

精密金属部品加工をコア事業として、顧客ニーズに基づき治具の設計、加工、CAMによるCNCデータ作成、専用機組み立てを請け負う。CNCフライス盤、旋盤加工機等、金属加工機械を幅広く取り揃えており、自動車部品、電機部品、機械部品等、さまざまな金属加工に対応可能である。最近では大阪に日本連絡事務所を設け、日本の大手メーカーや農業機械関連企業等からの受注を拡大させている。当社の強みとしては、日本語対応が可能であること、試作から量産までを低コスト且つ迅速に対応できることが挙げられる。



CNCデータ

■共同開発・技術提携

日本企業との共同開発、技術提携を通じて、加工技術や生産性向上、生産工程合理化等を実現したい意向である。ハノイ工科大学院よりインターンの受け入れを行っており、人材育成の面からも生産性向上の取り組みを図り、日本品質の定着を実現したい意向である。日本連絡事務所による日本語対応も可能であることから、日本メーカーからの要望を商談において確認したい意向である。日本企業との共同開発・技術提携を行い生産規模を拡大することで、ベトナム国内だけでなく、日本を含む海外での事業展開を更に進めて行きたい。

インド



I2ID06

ユニセブン・エンジニアリング・アンド・インフラストラクチャー
Uniseven Engineering & Infrastructure Private Limited

[参加予定者] 取締役
[本社] コルカタ (西ベンガル州) [他事務所] ムンバイ、デリー等
[HP] <https://uniseven.in>



プラント工場

- 設立年 : 1900年
- 資本金 : 1億5000万円
- 従業員数: 144名
- 売上高 : 15億2800万円
- 事業内容: エンジニアリング
- 主要製品: 非鉄冶金設備の設置・試運転
- 取引先 : 一次・二次金属加工メーカー
- 国際認証: ISO9001
- 日本企業との取引経験: 一

【会社概要】

1900年に設立されたJiwanram Sheoduttrai Groupの傘下企業。顧客は幅広い産業にわたり、鉄・非鉄産業や石油・ガス産業、鉄道事業等において、熱処理炉、大気汚染防止設備、パイプライン、油圧システムの設計や保守などを担う。当社はインドの主要都市にオフィスを構え、100社以上の顧客を抱えている。アメリカ、欧州、中国に数十年のグローバルパートナーがいるが、日本企業とは未提携。環境や省エネをテーマとした新たな技術や設備について関心が高く、電子廃棄物やグリーン水素などの分野で独自の技術を持つ日本企業からの購入や連携を図りたく商談を希望。

商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

廃棄される電子機器(電子廃棄物)のリサイクルや金属回収の分野で、鉄、アルミ、亜鉛、鉛、銅などのリサイクル、または関連する低炭素や環境保全に関連する製品を持つ日本企業との商談を希望している。インドや中東のクライアント向けにシステム・装置を販売したい意向。また、製品購入だけでなく、関連する技術についても日本企業との協業により、自社プロジェクトに導入したい意向がある。これらの分野で独自の技術をもったメーカーとの商談を希望している。その他、グリーン水素などのクリーンエネルギー分野についても関心があり、この分野の技術を持つ日本企業との商談もしたい意向。



製造風景

SDGs

I2MA01

コンコード・リニューアブル・エネルギー

Concord Renewable Energy Sdn Bhd (Concord Group)

[参加予定者] 取締役

[本社] クアラルンプール [他事務所] ー

[HP] <https://concord.group/>



バイオガスプラント (1)

- 設立年 : 2014年
- 資本金 : 6200万円
- 従業員数: 100名
- 売上高 : ー
- 事業内容: 再生エネルギー事業
- 主要製品: バイオガス発電
- 取引先 : 国営電力事業者
- 国際認証: ー
- 日本企業との取引経験: ー

【会社概要】

バイオガス発電を手掛ける再生エネルギー関連のグループ企業。パーム油工場の廃液 (POME) を利用したバイオガスプラントの設計、建設、運転からプロセス改善までを担うワンストップの統合プロバイダーである。過去10年間にマレーシア国内で7つのバイオガスプラントを建設し、現在も新たなプラントの建設に取り組んでいる。現在の総電力量は9.6MWに相当し、マレーシアの電力会社に固定価格買取制度により販売している。当グループ企業は、マレーシア及びアジア地域でエネルギー関連の賞を多く獲得している優良企業である。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

パーム油工場の廃液を利用してバイオガス生成する当社の技術に対して(乾燥したパーム廃棄物からのバイオマスではない)、その生産性を向上させる技術や製品を有している日本企業との事業連携や製品等の導入を期待している。生成されたバイオガスはガスエンジン(内燃機関)の燃料として使用され、電力を生成する。生成した電力は、マレーシアの国営送電網事業者に対して固定料金で販売される。



バイオガスプラント (2)

I2ID07

ブライトフレキシ・インターナショナル

Brightflexi International Pvt. Ltd.

[参加予定者] 代表取締役

[本社] マンガール(カルナータカ州) [他事務所] ー

[HP] <https://brightflexi.com/>



FIBCバッグ



バックシームBOPPバッグ



インセクトフリーバッグ

- 設立年 : 2016年
- 資本金 : 3380万円
- 従業員数: 1500名
- 売上高 : 29億4900万円
- 事業内容: 各種包装用袋製造
- 主要製品: フレコンバッグ、BOPPバッグ、PP織バッグ他多数
- 取引先 : 砂糖、肥料、飼料、セメント、化学品メーカー等
- 国際認証: ISO9001、ISO14001、ISO22000、ISO45001
- 日本企業との取引経験: ー

【会社概要】

AK Bansalのグループ企業として、1986年にインドのマンガールに設立された。産業界が求める多様なニーズに対応するパッケージングソリューションを提供している。主な製品は、ポリプロピレンを原料としたブロックボトムバッグ、フレコンバッグ (FIBC)、ピンチボトムバッグなどで、化学製品、穀物、砂糖、肥料などの包装用袋として各種産業界で利用されている。また、特にFIBCメーカーとしては国内メーカーTOP10に位置する。将来は、当社製品のブランド価値を高めるとともに、さらなる市場の拡大を図るために、世界市場に焦点を当てた研究開発部門を立ち上げる予定である。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

当社は様々な種類の織袋を製造しており、今後、世界市場をターゲットに同市場にある多種多様な製品ニーズに対応するため、新たな包装材料やテクニカルテキスタイルの開発に取り組みたいと考えている。具体的には、食品産業・化学産業向けの包装資材やテクニカルテキスタイルに関する新製品の開発であり、商談対象としては、特に日本のフレコン(フレキシブルコンテナ)メーカーとの商談を希望している。なお、共同開発・技術提携の拠点としては、インド国内(マンガール)を想定している。



日本企業からの購入



代理店契約
日本製品の販売



合併会社の設立



共同開発
技術提携



日本企業への
生産委託



インド

スタートアップ

I2ID08

SMPS エレクトリック・コントロール
SMPS ELECTRIC CONTROL PRIVATE LIMITED

[参加予定者] 代表取締役
[本社] プバネーシュワル(オリッサ州) [他事務所] —
[HP] <https://smpselectric.com/>



Optional Plugs
CCS1, CCS2, Chademo, GB/T

EV充電器



Smart Hybrid SMPS

マルチソースコンバーター

- 設立年 : 2021年
- 資本金 : 16万円
- 従業員数: 12名
- 売上高 : 53万円
- 事業内容 : 製造業(産業用パワーエレクトロニクス製品等)
- 主要製品 : EV充電器、ソーラーインバーター、コンバーター、スマートグリッド他
- 取引先 : 再生エネルギー関連、EV関連、通信事業関連企業等
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

インド工科大学の卒業生が立ち上げた、若くダイナミックかつ革新的な結果志向のスタートアップ企業である。超高速EV充電ステーション、ハイブリッドソーラーインバーター、DC-DCコンバーター、AC-DCコンバーターなどの産業用パワーエレクトロニクス製品の開発、製造、商品化に取り組んでいる。当社が開発した特許取得済み主力製品「スマートハイブリッドSMPS」は、AC電源とDC電源の両方を同時にかつ中断なく供給できるユニークなマルチソースコンバーターで、その用途はスマートグリッド、eモビリティ、5G・6G通信セクター、電力インフラ等多岐にわたっている。

商談会参加目的

■日本企業への生産委託

当社が開発したパワーエレクトロニクス用の14nmサイズのファブレス半導体集積回路を製造委託可能な日本企業との商談を望んでいる。この半導体集積回路はEV充電器、陰極防食コンバーター、テレコム製品、IoT製品など当社のパワーエレクトロニクス製品に使用予定であるため、日本で生産後、即インドに供給/輸出することを想定している。

■合併会社の設立

パワーエレクトロニクス製品やIoT関連製品の設計、製造施設を設立し、超高速EV充電器、再生可能エネルギー製品、大容量蓄電池製品、EV関連製品、5G・6G通信製品などを生産する予定である。既にパワーエレクトロニクス、テレコム、IoT製品市場に参入しており投資の準備はできている。当社とともにオリッサ州に産業用パワーエレクトロニクス製造工場の設立に関心を持つ日本企業との商談を希望している。

■共同開発・技術提携

EV充電器やソーラーインバーター、陰極保護コンバーター、テレコムおよびIoT製品などの分野で、同じ技術を持つ日本企業との商談を希望している。当社はすぐに利用可能な直接的な技術移転を望んではおらず、3年から10年の長期的な共同開発を想定している。特に高電圧DC-DCコンバーターとそれに対応可能なメガワット範囲の高周波トランス、大容量蓄電池技術、RANなどの5G・6G通信コアスタック機器に高い関心がある。共同開発の範囲としては共同知財を保有するための調査・研究や試作を想定している。



インド

スタートアップ

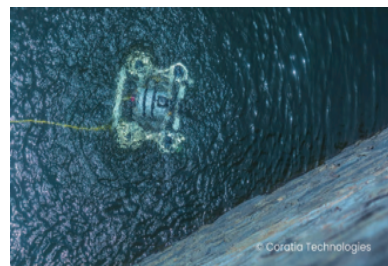
I2ID09

コラシア・テクノロジー
CORATIA TECHNOLOGIES PRIVATE LIMITED

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ルールケーラー(オリッサ州) [他事務所] —
[HP] <https://www.coratia.com>



水中ロボット



水中ロボット

[会社概要]

AUV(自立型無人潜水機)、ROV(遠隔操作型無人潜水機)を使用した水中検査のサービスプロバイダーであり、製品開発と統合ソリューションパッケージ及びコンサルティングサービスを提供している。当社のサービスは独自の研究開発と知財、優れた専門技術に裏打ちされており、効率的な予測と費用対効果の高いメンテナンス、修理計画の立案のためデータ主導による意思決定を支援することで実績を上げている。当社の開発製品は水中における優れた機敏性と動的安定性を併せ持ち、レーザースケーリング、水深測量、亀裂検出、非破壊検査、リアルタイム3Dモデル生成等の機能を備えている。非破壊検査手法に関しては現在特許を出願中である。

商談会参加目的

■合併会社の設立

当社の課題は世界的な競争市場への参入の遅れである。日本企業と合併会社を設立することで、相互協力による製品開発の加速とビジネスとしての事業拡大を両立させたいと考えている。当社との合併事業に興味、関心を持つ企業との商談を望んでいる。ターゲットは海洋探査、掘削事業、ダム・橋梁等の建設事業、水中構造物の構造健全性監視事業を請け負う業界の民間企業や政府系組織を想定している。

■共同開発・技術提携

パワーエレクトロニクス、組込システム開発及び音響センサーの分野に強みを持つ日本企業との商談を希望している。具体的には小型DC-DCコンバーター、IMU(慣性計測装置)、カメラ、USBL(水中測位装置)、DVL(ドップラー速度ログ)、ソナー等の商品について関心を持っている。協業する日本企業とは双方で、水中ロボットやその他様々なサブシステムに関連する製品開発において世界的な競争に参入し、特許を共同所有するなど長期的な協力関係を構築したいと考えている。



インド

スタートアップ

I2ID10

FxUAV テクノロジーズ
FxUAV Technologies Pvt. Ltd.

[参加予定者] 取締役
[本社] プバネーシュワル(オリッサ州) [他事務所] —
[HP] <https://www.fxuav.in/>



Rakshak UAVドローン



無人航空機の展示会出展

- 設立年 : 2021年
- 資本金 : 17万5000円
- 従業員数: 8名
- 売上高 : ー
- 事業内容: 産業用ドローンの開発、製造
- 主要製品: 検査、監視、災害対策等の産業用ドローン製造
- 取引先 : 自動車、鉄鋼業界等
- 国際認証: ー
- 日本企業との取引経験: ー

[会社概要]

PX4及びArduPilotベースのドローンシステムの設計及び開発を手掛けるスタートアップ企業である。インドの鉱物の掘削、発破等の採掘工程支援用のドローンの開発、製造を皮切りに、検査、監視、災害管理(主に消火)等向けの展開を検討している。また、リアルタイムの長距離飛行制御のために5Gネットワークを活用したテレメトリーを開発し、現在特許出願中である。現在、複数の大学や業界団体等と研究開発を進めており、鉱業用UAVの開発(監視と災害管理アプリケーション)に向けた資金調達を行っている。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

鉱物の採掘エリアでのドローンの制御と地上局へのビデオデータのライブストリーミングのためのMAVSDKアプリケーションの開発に取り組んでいることから、ドローンアプリケーション開発用の類似SDKの経験を有する日本企業との商談を希望する。また、鉱山や森林での火災を消火することが出来るミサイルベースの消火システムに関して、日本企業との共同開発も希望している。その他、5Gネットワークのテレメトリーの開発にも取り組んでおり、この分野で実績のある日本企業との商談も希望している。



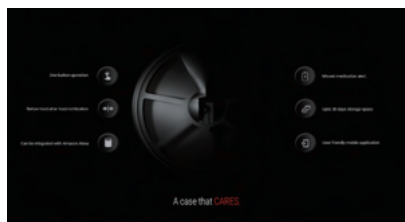
インド

スタートアップ

I2ID11

プライオリティーズ・メイド・イージー・テクノロジー
Priorities Made Easy Technology Pvt Ltd

[参加予定者] 取締役
[本社] プバネーシュワル(オリッサ州) [他事務所] —
[HP] <https://www.primeforyou.in/>



A case that CARES



当社が開発したIoT技術を使用した自動薬剤ディスペンサー-MedCase

- 設立年 : 2018年
- 資本金 : 15万円
- 従業員数: 4名
- 売上高 : 60万円
- 事業内容: IoTソリューション開発
- 主要製品: 自動薬剤ディスペンサー
- 取引先 : 医療機器メーカー、電子機器メーカー
- 国際認証: ー
- 日本企業との取引経験: ー

[会社概要]

IoT技術を活用したソリューションを提供するスタートアップ企業であり、産業用から家庭用まで幅広くソリューションを提供している。主力商品は、IoT技術を駆使した自動薬剤ディスペンサーであり、本商品は患者の服薬管理(時刻、回数、量、服薬履歴等)をすべて自動で行うことが可能である。慢性疾患を持つ高齢者や、老人ホーム及び病院等の医療機関向けに設計されている。現在、パイロット版が完成して量産体制の確立を目指し、グローバル展開を図っていく計画。また、インド政府及びオリッサ州政府の優良スタートアップ企業に認定され、インド国内で複数のスタートアップ支援機関から資金調達を成功させており、将来性の高い企業である。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

IoTを駆使した様々な患者への服薬管理アプリケーションを開発する中で、今後の量産を図るためにも、製品に使用可能な高品質な電子部品を開発、製造する生産拠点としての合併会社を日本企業と共に設立したいと考えている。提携する日本企業はヘルスケアアプリケーションを開発、製造している企業が望ましい。

■ 日本企業への生産委託

IoTを駆使した服薬管理アプリケーション製品である自動薬剤ディスペンサーの生産委託を検討している。求める性能として、服薬時間のリマインダー、食前・食後時の通知、服薬忘れのアラート、残薬の有効期間アラート、12時間以上連続使用可のバッテリーバックアップ等であり、100万個/年の製造を想定している。



日本企業からの購入



代理店契約
日本製品の販売



合併会社の設立



共同開発
技術提携



日本企業への
生産委託

インド

スタートアップ

I2ID12

サウンドリアー

Soundlear Private Limited

[参加予定者] 取締役

[本社] ダンバード(ジャールカンド州) [他事務所] —

[HP] —



開発中の聴覚認識デバイス (試作品)

- 設立年 : 2019年
- 資本金 : 200万円
- 従業員数: 7名
- 売上高 : —
- 事業内容: 聴覚認識デバイス開発
- 主要製品: 聴覚認識デバイス
- 取引先 : NGO(非政府組織)
- 国際認証: —
- 日本企業との取引経験: —

[会社概要]

2019年に設立されたインドのスタートアップ企業であり、片方の聴覚に問題を有す部分難聴者が利用可能な聴覚認識デバイスの開発を行っている。特殊な技術を利用して国内に約1億人存在する部分難聴者の問題を解決するために、安価でかつユーザーフレンドリーな聴覚認識デバイスの供給を目指している。将来的には近隣国の市場進出も視野に入れている。現在は試作品の製作、評価の段階であり、日本企業との連携を通じて品質の向上や量産を実現することを目的に商談会に参加する。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

聴覚認識デバイス開発のために日本企業との共同開発・技術提携を希望している。当社製品は、部分難聴者向けに設計されており、インド国内に約1億人いると言われている部分難聴者の問題を解決するために量産に向けた試作を進めている。日本企業には、聴覚認識に必要な半導体チップについて技術とノウハウを期待している。開発した製品については、インド国内での販売を想定しているが、将来的には近隣国への展開も視野に入れている。

インド

スタートアップ

I2ID13

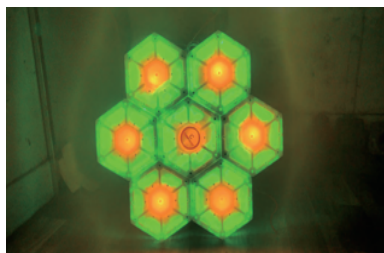
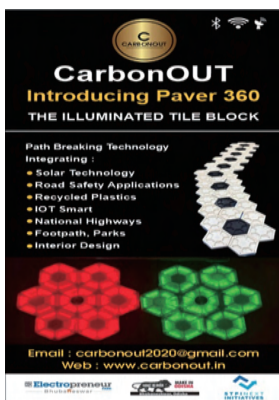
カーボンアウト・テックコム

CARBONOUT TECHCOM PRIVATE LIMITED

[参加予定者] 代表取締役

[本社] プバネーシュワル(オリッサ州) [他事務所] —

[HP] —



当社開発のPAVER-360製品：
ソーラー技術とIoT技術を利用したLED照明。

- 設立年 : 2021年
- 資本金 : 20万円
- 従業員数: 10名
- 売上高 : 700万円
- 事業内容: 照明床タイルの製造・販売
- 取引先 : IT企業、建設会社、不動産会社等
- 国際認証: —
- 日本企業との取引経験: —

[会社概要]

当社は2021年に設立したスタートアップ企業であり、持続可能な社会を実現するために、プラスチックをアップサイクルした照明床タイル「Paver360」を製造、販売している。本製品は、太陽光発電の充電とIoTが搭載されており、サイネージ、公園、横断歩道、鉄道の踏切等に活用され、スマートシティの一翼を担っている。ソフトウェアと情報サービスの輸出促進のために創設されたインドの工業団地STPI(Software Technology Park of India)からの受賞歴も有する。今後、さまざまな分野への展開が検討されており、とりわけ本製品搭載のドローン用充電ステーションへの応用等が期待されている。

商談会参加目的

■合併会社の設立

当社は現在第一弾の試作品が完成し、量産への移行段階を迎えるが、IoT、LEDドライバー及びLED照明用の産業用コントローラーの開発を加速させることを目的にIoT、LED照明、LEDドライバー、ARMコレクティブボード、プリント基板開発の分野に知見・開発経験を有する日本企業との事業連携を希望している。将来的には日本企業との合併会社により、量産製造を行っていきたい意向である。

I2K002

イーロン・システム
E-ron system

[参加予定者] 代表取締役
[本社] クアンミョン市(光明市) [他事務所] ー
[HP] <https://www.e-ron.co.kr>



ネットワークカメラ



ビデオモニタリングシステム



モニタリングディスプレイ

- 設立年 : 2020年
- 資本金 : 1300万円
- 従業員数: 5名
- 売上高 : 4690万円
- 事業内容: 監視制御システム構築
- 主要製品: 遠方監視制御システム設計、設置、運営
- 取引先 : 地方自治体
- 国際認証: ー
- 日本企業との取引経験: ー

[会社概要]

大雨による洪水等に備え、当社では遠隔監視カメラによって河川や貯水池の水位をモニタリングし、水害対策に資する監視制御システムの運用、開発を行っている。現在は、統合ビデオ管理システムベースの管理システムで画像及びセンサーをリアルタイム表示させ、ヒューマンマシンインターフェースとして水門を自動開閉させている。これらは、AIベースの物体検出カメラのノウハウを有しているからであり、既存の制御プログラムとビデオ監視プログラムを組み合わせた統合制御システムを構築することでサービス提供を実現している。特許も多数保有しており、2024年からはメコン川でのプロジェクトを予定している。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

洪水等の水害に備え、コントロールルームで使用するAIoTシステムを開発したことから、CCTV、RTUを現場に設置された水門などの機器と連動させることで水門の自動化システムを日本企業と共同開発したい意向を有する。更には、当社が有する人工知能を活用したスマート水管理システム技術と水管理システムのノウハウを有する日本企業との共同開発によってSCADA(監視制御システム)の構築を希望している。

table of contents

国別目次

| 国名 | ページ | 管理番号 | 企業名 |
|----------|-----|--------|--------------------------------|
| ● インド | p5 | I2ID01 | ベルマリ・ワレース |
| | p6 | I2ID02 | シャシ・ケーブル |
| | p7 | I2ID03 | アンキット・スチールズ |
| | p11 | I2ID04 | ギシュヌ・ギアーズ |
| | p11 | I2ID05 | スリー・ガネシュ・プレス・アンド・コート・インダストリーズ |
| | p12 | I2ID06 | ユニセブン・エンジニアリング・アンド・インフラストラクチャー |
| | p13 | I2ID07 | ブライフレクシ・インターナショナル |
| | p14 | I2ID08 | SMPS エレクトリック・コントロール |
| | p14 | I2ID09 | コラシア・テクノロジー |
| | p15 | I2ID10 | FxUAV テクノロジーズ |
| | p15 | I2ID11 | プライオリティーズ・メイド・イージー・テクノロジー |
| | p16 | I2ID12 | サウンドリアー |
| | p16 | I2ID13 | カーボンアウト・テックコム |
| ● インドネシア | p4 | I2IN01 | ソマゲデ・インドネシア |
| ● 韓国 | p10 | I2K001 | イジジオ |
| | p17 | I2K002 | イーロン・システム |
| ● シンガポール | p5 | I2SI01 | チー・ファット・カンパニー |
| | p6 | I2SI02 | シャイン・プレジジョン・エンジニアリング |
| | p7 | I2SI03 | インスピラス・テクノロジー |
| ● タイ | p8 | I2TH01 | CYテクノロジー |
| | p10 | I2TH02 | TFP インダストリアル |
| ● ドイツ | p4 | I2GE01 | ファインドラットウェールク・アドルフ・エデルホフ |
| ● ベトナム | p9 | I2VN01 | アイディア・テクノロジー・コーポレーション |
| | p8 | I2VN02 | メイコー・オートメーション |
| | p12 | I2VN03 | PMA トレード・アンド・デベロップメント・テクノロジー |
| ● フランス | p9 | I2FR01 | ナノ・システムズ |
| ● マレーシア | p13 | I2MA01 | コンコード・リニューアブル・エネルギー |



<https://www.smrj.go.jp/>

商談会のお申し込みは、
中小機構が運営するビジネスマッチングサイト **J-GoodTech** で

ジェグテック

https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/lp_ceo/innovative2023_b/

海外CEO商談会



参加・申し込みに関するお問い合わせ先はこちらまで

お申し込みは
Webにて受付
(オンライン登録)

先端産業CEO商談会2023運営事務局

Management Office of CEO Business Meeting Event for Innovative Industry 2023

担当: 市川、大島、伊藤、土山

TEL: 03-6407-9367 / (平日:10時~17時)

Email: innovative-ceo2023@pasia.co.jp

商談会事業に関するお問い合わせ先

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 販路支援部 マッチング支援課 担当: 打田、井上、安居、小谷、北岡

TEL: 03-5470-2375 Email: ceo-network@smrj.go.jp

住所: 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

主催: 独立行政法人中小企業基盤整備機構

後援: 経済産業省、中小企業庁、独立行政法人日本貿易振興機構、独立行政法人国際協力機構、株式会社日本政策金融公庫、株式会社商工組合中央金庫、日本商工会議所、公益財団法人東京都中小企業振興公社、東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター、信金中央金庫

2023.9